

# 「地震火災対策きちんと出来ていますか？」 地震火災を防ぐポイント

P10・P11のチェックシートを広報紙から取り外し、  
平常時からご家庭で総点検を行いましょ！



交通防災課 職員

大きな地震が起きると、火災が同時に多くの場所で発生し、消火活動が遅れ、大規模な火災につながる危険性が高くなります。また、地震で暖房器具が転倒したり、配線が傷ついたりしたまま停電していた電気が復旧し、火災が発生することもあります。

今年は、1923年（大正12年）に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。もう一度、身の回りを確認し、地震火災を防ぎましょ。

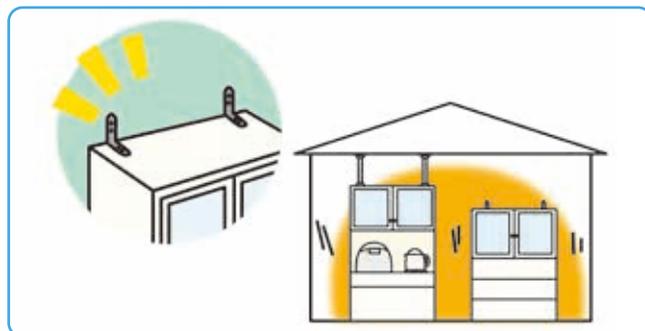


## 事前の対策

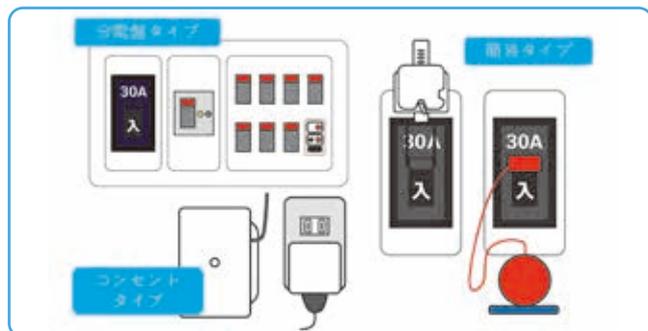
住まいの耐震性を確保ましょ



家具等の転倒防止対策(固定)を行いましょ



感震ブレーカーを設置ましょ



ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないましょ



住宅用消火器等を設置し使用方法について確認ましょ



住宅用火災警報器\*を設置ましょ



\*交換の際は連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換ましょ。 ※設置場所については火災予防条例で定められています。